

震度計やタブレット端末用ソフト 防災関連システム開発で 「世の中のお役に立ちたい」

システムシー

システムシー（町田市本町田、佐々木俊一社長、042・793・1988）は、自動機械制御ソフトや計測用システム（ハード・ソフト）の設計・製作、防災関連システム設計などの機械製作業務を手がけ、今年で会社設立10周年を迎える。

「世の中のお役に立つ開発がしたい」「お客様の『あったらいいな』にお応えしたい」という佐々木社長の想いから、これまでも数々の開発を手がけてきた。振動試験装置や計測震度計・強震計が同社の代表的な製品であることでも分かるとおり、幅広い開発を行う中でも、現在、特に力を入れているのが防災分野である。

東日本大震災以降、自然災害対策に対する関心が高まっていることから、土石流検知装置や防災通信システムなどの開発を、お客様のご要望を伺いながら手がけている。過去にも大規模な震災を数多く経験してきた我が国にとっては、地震に対する防災システム開発は必須であり、正確かつ迅速な地震データ解析・研究が不可欠な現状だ。そのニーズに応えるべく、より精度の高いシステムの開発を進め、振動試験装置や震度計の設計に反映させている。最近では、タブレット端末に地震の震度を表示するソフトを開発し、「携帯するこ



新開発のソフトを表示したタブレット端末を手にする佐々木社長



同社の製品を代表する「計測震度計」

とができるので非常に便利」と取引各社の防災担当者から好評を得ている。

「大震災から得た教訓を無駄にすることなく、災害の情報を正確に捉えて、正確に伝えることで二次災害を極力抑えたい」と佐々木社長は熱心にくり返した。これからも、震度計・強震計や防災関連システムなどお客様の「あったらいいな」を実現していくため、開発にさらに力が入る。